

# IT食農だより

発行元:豊橋技術科学大学 先端農業・バイオリサーチセンター

住所:〒441-8580 愛知県豊橋市天伯町雲雀ヶ丘1-1

TEL:0532-44-6655 E-mail:info@recab.tut.ac.jp

2024年4月15日

No.95

## 修了式が行われました！

3月25日(月)、最先端植物工場マネージャー育成プログラム第11期およびIT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)第7期生の修了式が行われました。当日は、植物工場マネージャー修了生3名が出席し、寺嶋学長から「植物工場管理経営士」及び「IT食農先導士」の称号が授与され、欠席のIT食農先導士修了生2名には別途「IT食農先導士」の称号が授与されました。また、教室講義、eラーニング及び課題研究等で優秀な成績を修めた植物工場マネージャーの林千恵子氏と、IT食農先導士の丸山亜弥子氏に「優秀成績賞」「課題研究優秀賞」が表彰されました。学長の式辞後、修了生を代表して、林千恵子氏が答辞を述べました。(文責:山内高弘)



修了式の様子(答辞)

## 2024年度 社会人向け実践教育プログラム等(全5講座予定) 一部講座受講生募集中!

バイオリサーチセンターでは、今年度も社会人向け実践教育プログラム等を開講します。

このうち①植物工場マネージャー、②IT食農先導士養成プログラムの2講座は、大幅改編をして新たにスタートします。これまで受講に時間を要したeラーニングを廃止、科目や授業時数を見直し、「技科大」らしく、時勢を反映したプログラム内容になっています。リアルタイム講義はオンライン中心で、学業、本業との両

立を図りやすく、これまで受講が難しかった遠方の方にも申込みしやすくなりました。以前受講された方の学び直しにもぜひご活用ください。

③6次産業化推進プログラムは文部科学省職業実践力育成プログラム(BP)認定、国家戦略プロフェッショナル検定「食の6次産業化プロデューサー(食Pro.)」認証プログラムです。毎年多様な背景を持つ方々が受講されており、多くの修了生が食Pro. 段位申請、取得をして各方面で活躍中です。

昨年スタートした④スマート農業特別講義は1科目増やし、さらに充実した6科目で開講します。

毎年好評の⑤市民講座は、例年同様の予定ですが、詳細は現在調整中です。

### 【各講座概要】

- ①最先端植物工場マネージャー育成プログラム<募集中!>
- ②IT食農先導士養成プログラム(最先端土地利用型IT農業コース)<募集中!>

期間 6月~2025年3月  
場所 主にオンライン  
内容 ①植物工場および  
②土地利用型農業の管理経営ができるIT農業人材を育成します  
定員 ①10名 ②5名  
受講料 各15万円(割引制度あり)  
申込 4月1日(月)~5月7日(火)

- ③東海地域の6次産業化推進人材育成

期間 9月~2025年1月  
場所 主にオンライン  
内容 商農工のスキルを融合し、6次産業化ビジネスを設計、実行できる人材を育成します  
定員 10名  
受講料 8万円(割引制度あり)  
申込 5月1日(水)~6月24日(月)

裏面へ続く

#### ④ スマート農業特別講義

期間 9月～2025年2月 全6回  
月1回（予定）  
場所 オンライン  
内容 本学の教員が各分野の研究最前線を  
紹介します  
定員 なし  
受講料 1万円（割引制度あり）  
申込 5月1日（水）～8月10日（土）

#### ⑤ 市民講座

期間 7月～2025年3月 全9回  
毎月第2水曜（予定）  
場所 豊橋技術科学大学・オンライン  
内容 植物に関する講義  
定員 なし  
受講料 無料  
申込 5月頃より予定

詳細はバイオリサーチセンターWebサイトをご  
覧ください。（文責：前田紀子）

先端農業・バイオリサーチ  
センター  
<https://www.recab.tut.ac.jp/>



### 第13回IT農業ネットワークシンポジウム が開催されました

3月2日（土）、第13回IT農業ネットワーク交  
流シンポジウム「儲かる農業とは！」が、  
emCAMPUS5階セミナールームA～Cで開催されま  
した。

#### 【基調講演】

新美康弘氏（株式会社にいみ農園）  
「トマト、ミニトマト中心に顧客目線の地域  
密着経営～食卓に笑顔と健康をお届けしま  
す～」

#### 【パネルディスカッション】

テーマ「儲かる農業について」

パネリスト

- ①新美康弘氏
- ②山田祐也氏（植マネ1期）
- ③鈴木春雅氏（6次産業化5期）
- ④鈴木永夫氏（植マネ2期、6次産業化2期）
- ⑤高山弘太郎 先端農業・バイオリサーチセ  
ンター長



パネルディスカッション

コーディネーター  
山村友宏氏（有限会社F. T. Y）

【IT農業ネットワークの会員活動報告】  
大岡祐馬氏（植マネ9期、6次産業化9期）  
「いちごの根を考えた高設栽培～未来ベンチ  
～」  
野々山昭太氏（植マネ8期）  
「有機トマトとロボット技術で挑戦する高収  
益モデルの実現」

【先端農業・バイオリサーチセンターの報告】  
谷口慎也氏（6次産業化12期）  
「玄米甘酒で地球環境と小規模農家を持続可  
能に」  
林千恵子氏（植物マネ11期）  
「人工光型植物工場におけるイチゴの水耕栽  
培試験」

5階SEMINAR ROOM Lでは農産物・6次化商品販  
売も行われました。シンポジウムには計74名が  
参加、活発な意見交換が行われ、農産物・6次  
化商品販売ともに、盛会のうちに終了しまし  
た。（文責：山内高弘）



質疑応答の様子